



基本理念

本院は診療・教育・研究を遂行する大学病院としての使命を有し、また患者さんの人権を尊重した先進的医療を行うとともに、次代を担う国際的な医療人を育成する。

包括先進医療棟オープン

特集号



主な記事

● 包括先進医療棟の完成	2	● [4F] 産科	8
● 包括先進医療棟フロアガイド・機能案内について	3	● [5F] 新生児科 (NICU・GCU)	9
● [B1F] MRI検査室	4	● [5F] 生殖医療センター (IVF・ET)	9
● [1F] 先端細胞治療センター (分子細胞診療室)	4	● [6F] レディース病棟	10
● [1F] 信州がんセンター	5	● 通院治療室移転のお知らせ	11
● [2F] 集中治療室 (ICU)	6	● 電話番号表・編集後記	12
● [3F] 手術部	7		

包括先進医療棟の完成

信州大学医学部附属病院長 本田 孝行



待ちに待った包括先進医療棟が完成します。信大病院は、その診療機能を強化して、さらなる地域貢献および社会貢献を行います。信大病院では毎月600件程度の手術が行われていますが、年々合併症のある患者さんが増加し、一件当たりの手術時間が長くなっています。いつも手術室が満杯で、緊急手術を行うために予定手術を夜間に行わなければならない状態です。すでに疲労している医療従事者にとって、人手の少ない夜間の手術は安全面で問題があります。信大病院では、手術におけるリスクを軽減するためにも手術室を増やすことが課題でした。包括先進医療棟の完成で、より安心して安全な手術を提供できるようになります。また、ロボット手術室、ハイブリッド手術室、スマー

ト治療室など、最新の設備を備えた手術室が、侵襲の少ない優しい手術を可能にします。術後患者さんの管理を充実させるために、集中治療室も拡充します。

また、少子化といえども、周産期医療の充実は大学病院の使命です。産科病棟にNICUおよびGCUを含めて総合周産期病棟を作りました。産科医と小児科医が力を合わせて新生児に適切な医療を提供します。合併症を持った妊婦さんには、心強い病棟になります。加えて、婦人科疾患と乳腺疾患を主体とした女性患者さんのためにレディース病棟を新設します。女性のために医療を実践します。

唯一の外来機能として、1階に信州がんセンター通院治療室を移転します。今よりも快適でかつ効果的な外来がん治療を目指します。包括先進医療棟は、信大病院が地域医療構想の中で何をなすべきかを考えた結果でもあります。長野県の皆様に、信大病院の新しい機能を最大限にご活用いただけると幸いです。



※本冊子に掲載されている写真は、実際と異なる場合がございます。

包括先進医療棟 フロアガイド・機能案内

経営管理課 宮尾 勇人

2018年4月より、包括先進医療棟（愛称：南病棟）が完成し稼働を開始いたします。

本建物は本院敷地南東に位置し、地下1階、地上7階建て（7階は機械室）、総面積約12,000㎡の建物となります。

信大病院は、近年の医療需要には機能面、療養環境面等で必ずしも応え切れていない部分や、県の施設を賃貸するなど施設としての不足部分も見受けられました。包括先進医療棟の完成により、患者さんにより安全で高度な医療を提供し満足していただける病院を目指します。

各フロアの機能は以下のとおりです。

【B1F】MRI検査室（放射線部）

MRI（Magnetic Resonance Imaging：磁気共鳴画像診断装置）検査フロアです。

国内最新機種を含むMRI装置が5台設置されます。待合室も広くなり、完全個室の更衣室も5室設置されます。検査室内の天井には疑似天窓による青空が広がり、視覚的に広がりのある空間にいるような雰囲気してくれます。

【1F】信州がんセンター、先端細胞治療センター 分子細胞診療室

本院向かいの県の旭町庁舎にあった「信州がんセンター」を本建物に移転し、化学療法の増床（現状24床から30床）を行いました。リラックスして治療が受けられるように開放的なスペースと木目をベースとした明るいフロアになりました。また、緩和ケアセンター、ひまわりサロンや樹状細胞療法のための分子細胞診療室も設置されています。

【2F】集中治療室（ICU）

ICU（Intensive Care Unit：集中治療室）のフロアになります。手術室の増設による手術件数の増加に対応するために増床（現状10床から14床）を行いました。14床のうち8床はオープンフロアで、6床は個室になります。（うち1室は感染隔離のための陰圧室となります。）

【3F】手術部

手術室のフロアです。既存の手術部エリアと接続した形で拡張し、増室（現状12室から18室）を行いました。

た。ハイブリッド手術室（心・脳血管X線撮影装置を組み合わせた手術）、ロボット手術室（鏡視下手術にロボットの機能を組み合わせた手術）、スマート治療室（術中MRIや各種医療機器が高度にネットワーク化された手術）といった、最先端の技術と科学の融合を持って設計された特色ある手術室3室を備えています。

【4F】産科

分娩のためのフロアになります。病室は4床室が6室、個室が3室、ハイリスク出産の危険度が高い母体・胎児に対応するための設備を備えた病室であるMFICU（Maternal-Fetal Intensive Care Unit：母体胎児集中治療室）を6室新設しました。また7室ある分娩室は全てLDシステムを取り入れており、陣痛（Labor）から、分娩（Delivery）までを同じ部屋で行うことができます。

【5F】新生児科（NICU・GCU）、 生殖医療センター（IVF・ET）

新生児及びIVF（In Vitro Fertilization：体外受精）・ET（Embryo Transfer：胚移植）のフロアです。新生児病床としてNICU（Neonatal Intensive Care Unit：新生児集中治療室）を9床、およびGCU（Growing Care Unit：回復治療室）を18床備えます。本来ならまだお腹の中にいる赤ちゃんのために、間接照明による反射光を利用し、柔らかな空間を実現しております。

IVFはカウンセリング室や採卵室、培養室等、最先端の設備が導入されました。デザインも含めて最適な設計がされており、快適な治療が受けられる施設となっております。

【6F】レディース病棟

（婦人科／乳腺・内分泌外科）

婦人科及び乳腺・内分泌外科から構成される、女性専用のフロアです。病床数は35床で、4床室が7室、個室が7室（うち2室は特別室）で構成されています。南側の病室からは松本市街が一望できます。

これからも信大病院は、患者さんを第一に考え、安全で安心な医療を提供し、地域社会に貢献できる病院を目指します。引き続き皆様のご支援を宜しくお願いいたします。

[B1F] MRI 検査室

放射線科 藤永 康成

MRI 検査室は中央診療棟の東側 1 階に位置しておりましたが、この度、包括先進医療棟の地下 1 階に全面移転いたしました。これに伴い、MRI 装置が 4 台から 5 台（3T MRI 装置 3 台、1.5T MRI 装置 2 台）に増えるとともに、このうち 3 台の MRI 装置が更新されたことで、より精度の高い MRI 検査が可能となります。加えて、予約待ちの短縮も期待できます。狭く雑然として



いた旧 MRI 検査室とは異なり、各検査室は余裕をもって配置されています。空間はとて広くなりましたが、患者さんの受付→着替え（→必要に応じて前処置）→検査→着替え→会計、といった流れがスムーズになるように配慮した設計になっています。これまでカーテンのみで仕切られていた更衣室は、プライバシーに配慮した作りになりました。また、リラックスして検査を受けていただくために、検査室内の天井に風景の写真を配置いたしました。検査室毎に風景が違いますので、定期的に MRI 検査を受けておられる患者さんには、いろいろな風景を楽しんでいただけます。新しい MRI 検査室で、患者さんに快適に検査を受けていただくとともに、これまで以上に質の高い MRI 検査が提供できるよう、担当スタッフ一同がんばります。

[1F] 先端細胞治療センター(分子細胞診療室)

先端細胞治療センター 柳沢 龍 石川 伸介

先端細胞治療センターは、最新の機器を設置した細胞・組織調製施設（Cell Processing Center）を病院内に保有する部門です。これまで長野県内における、がん免疫療法や再生医療等の実施および普及に対して主に力を注いできました。この度、包括先進医療棟のオープンに伴い 1 階にスペースをいただき、新たなスタートを迎えることとなりました。これまではスペースの不足などにより来院された患者さんやご家族の皆様にご不便をおかけすることもありましたが、これからは快適な環境でより良い診療を目指していきたいと考えております。これまで実施してきた樹状細胞ワクチン療法をはじめとした細胞療法の経験や研究成果をもとに、今後も新たながん免疫療法や再生医療等の臨床研究を積極的にすすめていきたいと考えております。また、保険適応外の先進的な治療のみならず造血幹細胞移植など既存の治療分野においても新しい治療方法の開発や技術向上は新たな発展をもたらします。引き続き院内の他の部門や診療科との連携を深め

るとともに、多施設での協力体制も積極的に用いて幅広い領域で診療および研究の推進を図っていききたいと考えております。



[1F] 信州がんセンター

(通院治療室／緩和ケアセンター／ひまわりサロン)

信州がんセンター長 小泉 知展



包括先進医療棟 1階 信州がんセンターを紹介します。

通院治療室、緩和ケアセンター、がんサロン、がん疫学・情報室を整備しました。通院治療室は今までの24床から30床に増床して稼働します。今後の患者数増加を見込んでのことですが、その分待合室が今までの旭町庁舎の通院治療室より極端に狭くなっています。今まで午前9時に来院して、受付順で診察までの順番待ちといった慣習の患者さんが多いかと思いますが、今後はより円滑な診察、治療開始とするため、事前の予約時間を3段階（午前9時と10時30分から、午後1時から）制にしてあります。午前早く来院されても診察待ちとなる患者さんが待合室に混雑することを避ける処置ですので、予約時間を厳守していただくと幸いです。患者さんの点滴治療の時間等を考慮して主治医もこの時間制で予約を取得するように努めますので、よりスムーズな運用にご協力をお願いします。また、いままで受付および採血検査を旭町庁舎で行う患者さんが大半でしたが、原則院内の通常の一般外来受付および中央採血室での検査をお願いするようになります。待合場所に隣接してがんサロンを配置してありますので、待ち時間に自由に利用していただければと思っています。さらに、通院治療室の診察室は、患者さんに投与している化学療法剤を薬剤師が説明を行う薬剤指導室として、化学療法中や緩和ケア中の患者さんに対して看護師が担当する看護外来室として、またリンパ浮腫外来室としても利用しますのでご理解とご協力を

お願いします。

緩和ケアセンターも今までより、より患者さん目線に近い場所に設置できたと考えています。外来患者さんのみならず院内の患者さんや家族にもわかりやすい場所で、活動を広げ、患者さん家族に寄り添える緩和ケアを提供したいと思います。がんサロンは、自由にくつろげる空間と個人面談・相談可能な個室も準備し、がんに関する情報誌や冊子も用意してあります。また定期的に患者さん同士の語らいや交流の機会も設定していきます。がんに関する相談や悩みのある方は最寄りのスタッフにお声をかけてください。

最後に、1階にはがん疫学・情報室を設けました。ここでは、患者さんと直接対応する場所ではありませんが、がん登録などの情報を分析・解析し、信大病院の受診状況や治療内容や成績、また長野県全体のがんの特徴などを、市民公開講座や病院のホームページなどを通じて情報提供できるようにと思っています。



ひまわりサロン

[2F] 集中治療室 (ICU)

集中治療部 三田 篤義

集中治療とは、重篤な臓器不全に対して、強力かつ集中的な治療とケアを行うことで臓器機能を回復させ、重症患者を救命することを目的とした医療です。その目的を達成するために高度な医療機器を備え、集中治療に習熟した専門家を多数配置した集中治療室 (ICU) が整備されてきました。入院患者さんの中で、心臓や脳の手術などの負担の大きな治療を行った後、あるいは突然重要な臓器の機能が損なわれるような重篤な病気を発症したときなどに、臓器の機能が回復してくるまでの間、ICUに入室して集中治療を行います。

医療機器の進歩や高齢化の進行によって集中治療を必要とする患者さんは増加しています。また、ドクターカーやドクターヘリなどの整備により遠方からでも重症患者を搬送できるようになり、大学病院への重症患者の集積が進んでいます。このような状況において、これまでのICUではかなり手狭となってきました。

このたび信大病院では、これまで10床であった集中治療部旧ICUから、包括先進医療棟の2階に新設された14床の新ICUへ移転の運びとなりました。新しいICUはベッド数が4床増床となったことに加えて、1ベッドあたりの面積が広がっており、進歩が著しい様々な医療機器、例えば血液浄化機器や補助循環装置などの設置が容易となっています。高度な治療やケアを行うため看護師を大幅に増員し、さらに集中ケア、慢性呼吸器疾患看護、認定レシピエント移植コーディネーターの各種認定看護師や専従の薬剤師も配置されました。また、様々な医療機器の整備や機能維持に関わる



臨床工学技士が専属で配置されてICU内で機器管理を行えるようになり、夜間・休日の院内待機も実現して緊急時の即応態勢を強化しています。重症患者管理を専門とする日本集中治療医学会集中治療専門医を含むICU専従医がこれまでより3人増員されて9人体制となり、手術やカテーテル治療などを行う各診療科を集中治療の面で強力にサポートします。リハビリテーションチームがごく早期から関わってリハビリを進め、後遺症を残さない管理を目指しています。呼吸サポートや栄養サポート、感染対策、危機管理、緩和治療、リエゾンなど、院内の様々な専門治療チームが定期的に回診を行っています。このような多くの専門家が定期的なカンファレンスを行って情報を共有し、些細な異常も見逃さずに早期に治療を開始して良好な治療成績に結びつける、万全の医療体制を整えています。



[3F] 手術部

手術部 加藤 博之 浦田 浩一

応できるよう十分な空気清浄度を確保しました。

2. スマート治療室

「スマート治療室」(図2)は、日本医療研究開発機構、東京女子医科大学、広島大学、本学、そして多くの企業の協力で研究開発しているIoTを活用したMRI手術ユニットです。脳実質内腫瘍の手術では、正常な脳との境界がわかりにくく、無理に摘出すれば後遺症の危険が増加し、逆に腫瘍を残せば腫瘍再発が生じ生存率が低下します。スマート治療室では、単体の医療機器で

は実現できなかった情報、すなわち手術進行の諸情報や患者さんの状態を統合してモニター(手術戦略デスク)に「見える化」することで、脳腫瘍手術の精度と安全性を向上させます。従来の機器のほか、術画像情報としてMRIを手術室に組み込み、医師や看護師など医療スタッフがリアルタイムに状況を共有しながら手術を進めることができます。初期モデルを開発した東京女子医科大学では、悪性脳腫瘍手術において、高い術後生存率を得ており、本院でも良好な手術成績が期待されます。



【図1】ハイブリッド手術室対応の多軸透視・撮影システム「ARTIS pheno」

(写真 シーメンスヘルスケア(株)提供)

手術部では、手術室不足解消と、ハイブリッド手術室設置のため現在の12室に加え、新たに7室を増築しました。特殊な機能を持つ手術室は4室で、後述のハイブリッド手術室、スマート治療室のほか、広いロボット用の手術室、部屋全体をオゾン・過酸化水素殺菌可能な感染対策手術室を造設します。また、一般手術室として3室を造設し、内鏡視下手術や脊椎手術、開頭手術など多様な手術に対応します。本稿では、ハイブリッド手術室とスマート治療室の2室をご紹介します。

1. ハイブリッド手術室

血管造影装置を兼ね備えた手術室です。機能低下の大動脈弁疾患で、通常の胸を開く手術ではなくカテーテルを用いて大動脈弁を人工弁と置き換える「経カテーテル大動脈弁留置術(TAVI)」を行うことができます。カテーテル治療で対応困難な時は、そのまま外科手術に移行することが可能で、より安全な環境が整備されます。心臓血管外科、循環器内科、放射線部技士、麻酔科医らが垣根を超えてチームを組み、患者さんの治療にあたります。その他にも、カテーテルを用いた大動脈瘤に対する人工血管の内挿術(TEVAR・EVAR)、脊椎手術、脳動脈瘤手術、拡大肝切除前処置の門脈塞栓術、婦人科領域の術前動脈塞栓術などを行います。床置型透視装置SIEMENS社製Artis Pheno(図1)は、3D機能や画像融合機能を持ち、精度の高い画像を基に手術が可能です。脊椎手術や開頭手術に対



【図2】スマート治療室の各機器

術中MRI装置、神経機能検査装置、生体モニタ、手術台、手術顕微鏡、手術ナビゲーション、術野画像のデータはIoTにより時間軸で管理・統合され、術者や手術スタッフに提示される。

(写真 東京女子医科大学 先端生命医学研究所 先端工外科学分野 提供)



産科デイルーム

産科病棟は包括先進医療棟の4階に移転します。移転に伴い新病棟の分娩室がすべて個室になるなどの変化がありますが、まず本院における周産期医療の実情をご紹介します。

1. 信大病院における周産期医療

信大病院における分娩数はここ10年で増加傾向であり、2006年には年間374件でしたが、10年後の2016年には920件とおよそ2.5倍になっています。これは松本医療圏内の分娩取り扱い施設数の減少が一因です。またハイリスク妊娠・分娩に相当する妊産婦さんが本院に紹介されることが多くなっていることも一因と考えられます。加えて信大病院のもうひとつの特徴は、いわゆる正常妊娠とされるローリスク妊婦さんの管理・分娩や中間的なミドルリスクの症例も扱っていることです。すなわち、ローリスクからハイリスクまで「守備範囲」が広いことが特徴です。なお、妊婦さんの受け入れ数を制限する「分娩制限」は一切しておりません。

2. 院内助産

院内助産とは、緊急時の対応ができる医療機関において、正常経過の妊産婦さんのケアおよび助産を助産師が自立して行うことです。背景には産婦人科医師不足・分娩施設の減少があります。院内助産を推進する目的は、妊婦さんの多様なニーズに応え、地域における安全・安心・快適な出産の場を確保するとともに、産科病院において助産師を積極的に活用し、正常産を助産師が担うことで産科医師の負担を軽減することで

す。ただし、医師不足のみに対応するものではなく、助産師本来の役割・責任を果たすことが最大の目的です。当院では2016年1月からローリスク妊婦さんを中心に助産師が主体的に分娩を管理する院内助産を開始しました。分娩管理の途中で異常が発生したならば、その時点から医師が介入して助産師と協同で管理していきます。

3. 包括先進医療棟・産科病棟について

現在の産科病棟にはオープンスペースの陣痛室（6ベッド）と分娩室（2室）があり、産婦さんには出産直前までは陣痛室で過ごしていただき、分娩室に移動して出産するという管理方式をとっています。包括先進医療棟ではオープンスペースの陣痛室はなくなり、陣痛から出産までを一貫して個室（トイレ付）で管理する分娩室が7部屋設けられます。これによって産婦さんにはプライバシーの守られる、より満足度の高い出産をしていただけるものと考えております。

また一般病室の個室が6室から9室に増え、それぞれに専用のシャワー・トイレが付くこととなります。9室のうち6部屋は特に重症度の高い妊婦さんを管理するのが目的ですが、それぞれ南側に面していて松本平を一望できます。また3部屋は東側に面していて女鳥羽川・美ヶ原の景色を一望できます。また、いわゆる大部屋（4床室）も患者さんごとに仕切りがあって半個室の感覚をより感じていただけたと思います。新病棟移転後も入院中の妊産婦さんと赤ちゃんのアメニティ向上に努めてまいります。



個室

[5F] 新生児科 (NICU・GCU)

小児科 三代澤 幸秀

5階NICU・GCUのご紹介です。近年NICUでは家族のプライバシーへの配慮が重視されています。理想は個室化なのですが、完全に個室になってしまうと、スタッフの目が行き届きにくくなってしまいます。このため新病棟NICUでは半個室を採用しました。各室は140cm程度の壁で隔てられており、立っているスタッフからは全体が確認できる一方、椅子に座っているご家族は周囲の視線を気にせずリラックスできる環境となっています。また、赤ちゃんにまぶしさを感じさせ

ずに、明るい空間を提供できるように、間接照明を取り入れました。GCUについては、移動式パーテーションを用いた開放的な空間をイメージしました。窓からの眺めは素晴らしく、落ち着いた時間を過ごしていただけたと思います。入院が長くなってしまいうち赤ちゃんもいらっしゃいますので、ファミリールームや外に出られる中庭など、入院生活をできるだけ明るい気持ちで過ごしていただけるよう工夫をこらしたつもりです。



[5F] 生殖医療センター (IVF・ET)

産科婦人科 岡 賢二

当院の生殖医療センターは2010年4月に開設され、年間約200例の体外受精(採卵)を取り扱っています。これまでは分娩部に隣接していましたが、今回は独立したスペースを持つことができました。また、2カ所の採卵室に加え、これまでなかったリカバリーベッド、専用の待合スペース、さらにカウンセリング室などを確保することができ、施設面はとても充実しました。

次に設備に関してですが、高性能な空調システムに加えて、扉の開閉無しに連続的に受精卵の発育が観察できるタイムラプス・インキュベータを導入します。卵子に優しく、また詳細な受精卵の観察が可能となり妊娠成績の向上が期待されます。

それらと並んで力を入れたのは、卵子や精子を間違いなく取り扱っているかをトレースするシステムです。生殖医療では安全性は治療成績よりも優先しなければいけないと考えていますが、むやみにチェック項目を増やすことは必ずしも有効ではありません。この点を解決する方法としてICタグを使ったシステムを導入します。従来のバーコードのシステムではスキャンしないとエラーが警告されませんが、ICタグのシステ

ムでは作業領域内は常にチェックされていることとなります。また国内での導入がほとんど無い、最新のシステムです。

今回は生殖医療センターが開設されてから8年目の大きなバージョンアップとなりますが、設備の質的には国内トップクラスになると考えています。治療成績の向上はもちろんですが、安全性や快適性も含めた医療の質全体が向上するように努力したいと考えています。



受付

[6F] レディース病棟 (婦人科/乳腺・内分泌外科)

看護部 高橋 法恵



ダイルーム

6階には、東病棟の4階と8階から婦人科と乳腺内分泌外科の一部の病床が移転し、レディース病棟としてオープンします。その名のとおり、女性の患者さん専用の病棟です。

信大病院の中でも南の位置にある包括先進医療棟で、最上階となるこの病棟からの眺望は格別です。特に、南側からは右手に松本城、左手に弘法山、その先に美ヶ原と、松本市内を一望できます。また、ダイルームから西側には常念岳の山なみを眺めることができ、四季折々の景色をお楽しみいただけます。

病棟内の環境は、患者さんにとって温かみを感じられる配色や素材にこだわり、全体的に明るく落ち着いた雰囲気です。病室は4床室7室と個室7室の合計35床で構成されています。4床室はベッドの間

に間仕切りタイプのロッカー付きテレビ台またはスライド式パーテーションを設置していますので、プライバシーに配慮した環境となっています。また、個室のほとんどには、シャワーとトイレを完備しました。更にミニキッチンやソファベッド、クローゼット等も備えたハイグレードな個室環境も2室用意しています。この部屋からは松本市街の夜景も堪能でき、入院期間をより静かな環境で落ち着いて過ごしたい方にお勧めです。

患者さんにとって一番身近な存在である看護職員をはじめ、病棟クラークや清掃員も女性のスタッフを配置しています。病室の雰囲気だけでなく、看護職員も患者さんの気持ちに寄り添う暖かな看護で、安心して治療に専念していただけるよう努めてまいります。



個室



4床室

通院治療室移転のお知らせ

平成30年4月23日(月)より、通院治療室が現在の旭町舎3階から南病棟1階へ移転いたします。移転に伴い、運用に変更がありますのでご案内いたします。

《駐車場・入口・受付》

- ・**駐車場**→今までは旭庁舎駐車場でしたが、4月23日以降は外来正面駐車場をご利用下さい。駐車券は必ずお持ちいただき、精算後、正面玄関入口にて駐車券の処理を受けることで駐車料金が200円となります。(旭庁舎の駐車場は利用できません。)
- ・**入口**→正面玄関もしくは南口となります。
- ・**受付**→正面玄関もしくはホスピタルモール、各外来フロアにて行って下さい。

《受付後から診療について》

- ・**採血**→採血のある方は、中央採血室での採血となります。(但し、長時間治療の方はスタッフがご案内いたします。採血が無い場合には、信州がんセンター受付へお越し下さい。)
- ・診察が各診療科外来の場合は、診察後、信州がんセンター受付へお越し下さい。
- ・診察予約・治療ベッド予約を決めて、極力お待たせする時間が無いよう、診察・治療を行います。次回の診察時間を医師に必ずご確認ください。
- ・治療ベッドは24床から28床(+緊急時個室2床)に増床し、チェア18台・ベッド10台となります。ベッドは長時間の治療の方やチェアでの治療が困難な方を優先にさせていただきます。治療決定順に治療室へご案内いたします。

《精算・会計・FAXについて》

- ・新しい通院治療室では、FAXの設備を設けておりません。ご自身で外来棟1階10番窓口横のFAXコーナーで送信していただく事になります。
- ・会計は、体調を考慮し、治療終了時に精算が行えるよう準備いたします。自動精算機は東西病棟1階と外来棟1階にあります。

ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



自動再来機



採血・採尿受付機



受付



電話番号表 (市外局番 0263) 代表番号 : 35-4600

【診療科外来】

南1階	小児科	37-2776	南3階	眼科	37-2789	リハビリテーション部(理学療法)	37-2836	
	遺伝子医療研究センター			耳鼻いんこう科	37-2791			
	先端心臓血管病センター			産科婦人科	37-2793	リハビリテーション部(作業療法)	37-3399	
	循環器内科			皮膚科				
	整形外科			37-2785	消化器外科		通院治療室	37-2552
	脳神経外科				移植外科	37-2778	医療福祉支援センター	37-3370
総合診療科		小児外科	37-2781	高度救命救急センター	37-2222			
南2階	呼吸器・感染症・アレルギー内科	37-2768	北2階			呼吸器外科	37-2783	胸痛センター
	消化器内科			乳腺・内分泌外科	37-2831			
	血液内科			37-2770	麻酔科蘇生科	37-2846	内視鏡センター	37-3389
	腎臓内科			37-2773	形成外科	37-2817		
	脳神経内科				精神科	37-2846	臨床研究支援センター	37-2930
	リウマチ・膠原病内科				子どものこころ診療部	37-3381		
糖尿病・内分泌代謝内科		泌尿器科	37-2787					
放射線科		特殊歯科・口腔外科	37-2796					

【医事課】

収 入 係	37-2763
入 院 係	37-2759
外 来 係	37-2757

【医療支援課】

患者サービス係 (診断書・労災)	37-2762
---------------------	---------

【病棟スタッフステーション】

西病棟		階	東病棟	
【先端心臓血管病センター】 循環器内科 心臓血管外科	37-2777	8階	糖尿病・内分泌代謝内科 乳腺・内分泌外科	37-2769
脳神経内科、脳神経外科 リウマチ・膠原病内科	37-2774	7階	消化器内科、血液内科 腎臓内科	37-2771
皮 膚 科 泌 尿 器 科	37-2788	6階	【呼吸器センター】 呼吸器・感染症・アレルギー内科 呼吸器外科	37-2784
消化器外科、消化器内科 移植外科、小児外科	37-2782	5階	眼 科、脳神経外科 麻酔科蘇生科	37-2790
産科婦人科 新生児科(NICU・GCU)	37-2772	4階	小 児 科 婦 人 科	37-2794
精 神 科 子どものこころ診療部	37-2775	3階	整 形 外 科	37-2786
放射線科、消化器外科、移植外科 小児外科、特殊歯科・口腔外科、RI 信州がんセンター、救急科	37-2780	2階	耳 鼻 い ん こ う 科 形 成 外 科	37-2792

くすりの相談室	37-3013	地域医療連携支援室	37-3370
総合医療相談室	37-3370	難病相談支援センター	34-6587
がん相談支援センター	37-3045	難聴児支援センター	34-6588
セカンドオピニオン外来	37-3111	肝疾患診療相談センター	37-2922
先端細胞治療センター (分子細胞診療室)	37-3220		



☆相談窓口☆

受付時間：月～金（祝除く）
9時～16時

編集後記

大変お待たせいたしました。平成30年4月包括先進医療棟（愛称「南病棟」）がオープンします。包括先進医療棟の魅力は次の6つ、①最先端の手術設備の導入、②生まれ変わる信州がんセンター、③集中治療室の拡大、④周産期医療の充実、⑤MRI検査室の充実、⑥レディース病棟（婦人科、乳腺・内分泌外科）です。「ハミング」No.82では、この魅力のすべてをお届けできるように、特集号として、フロアごとにその特徴をわかりやすくご案内しました。いかがでしたでしょうか。今後も信大病院は患者さんの視線を大切にしつつ、より高度な医療を提供できる医療機関として、一層の進化を続けてまいります。（医療情報部 浜野英明）

あなたの自慢の写真で「ハミング」の表紙を飾りませんか？ 写真を募集しております！

お名前・写真のタイトルをご記入の上、
byouin_soumu@gm.shinshu-u.ac.jp

へお送りください。
写真は2MB以上5MB未満のjpgデータ

【お問合せ・応募宛先】

信州大学医学部附属病院 総務課 総務係
TEL : 0263-37-3410 ※応募はメールのみ受付